

朝日ゲノミクスとみらか がん免疫薬の効果予測で協業

スタートアップ ヘルスケア

2019/10/13 18:00 [有料会員限定]

 保存  共有  印刷     その他▼

バイオスタートアップの朝日ゲノミクス（東京・千代田）はがん免疫薬の効果を予測する技術を、臨床検査大手みらかホールディングス子会社のみらか中央研究所（東京都八王子市）に供与する。みらかは、[小野薬品工業](#)のがん免疫薬「オブジーボ」などの効果予測サービスにつなげたい考え。

がん免疫薬は一定の患者に劇的な効果がある一方、全く効果のない患者もおり、詳しいメカニズムの研究が世界で進められている。朝日ゲノミクスの共同創業者である京都大学の小川誠司教授はがん免疫薬がよく効く患者を効率的に予測する技術を発見。日米欧で特許を出願している。

小川教授の技術を活用し、みらかは実際の患者に対する検査で薬の有効性を事前に確認するサービスを開発する。

朝日ゲノミクスは小川教授が電子データ配信サービス会社、イーパーセル（東京・千代田）の北野譲治社長と連携して2016年に設立した。